

## 研修会報告

平成 29 年 2 月 21 日

文責：舂甚 満

研修会名：生物化学分析部門研修会

テーマ：「HBV再活性化へのグローバルビジョン」

開催日時：平成 29 年 1 月 14 日（土曜日）13：00 ～16：10

会場：東北大学医学部 1 号館 2 階大会議室

<プログラム>

### 【講演 1】

HBV 再活性化対策と高感度 HBs 抗原測定試薬の有用性

富士レビオ株式会社 学術サービス部 福田雅之助先生

### 【講演 2】

当院の HBV 診療における薬剤師の取り組み ～HBV 再活性化の現状と予防～

東北医科薬科大学病院 薬剤部 早川幸子先生

同 倉田奈央子先生

### 【特別講演】

臨床検査技師の視点から始めた HBV 再活性化対策

大崎市民病院 臨床検査部 技師長 大柳政一先生

生涯教育点数：専門 20 点

参加者 会員 36 名、実務委員 6 名、計 42 名

### 【内容】

研修会は「HBV再活性化へのグローバルビジョン」をテーマとし、近年次々と新しい薬剤が開発され、癌疾患そして自己免疫性疾患に対してとても効果の高い治療が出来る時代になってきた。その効能は免疫機能を強く抑制することに起因する。その結果 HBV の増殖、そして肝炎となるものである。はじめに富士レビオ株式会社学術部の福田先生より HBV 肝炎の基礎的な HBV のライフサイクルから根絶に向けたユニバーサルワクチンの講演をしていただいた。つぎに東北医科薬科大学病院薬剤部の早川先生、倉田先生より薬剤師業務の紹介から化学療法処方に対する知識を講演いただいた。薬剤師の間でも化学療法の処方オーダー時には感染症検査に対して注意喚起をしていることを知ることができた。特別講演では大崎市民病院の大柳先生より自施設での HBV 再活性化患者を経験し、現在では HBV 再活性化に対して病院全職員を挙げての取り組みが紹介された。HBV 再活性化に対する医療機関の対応は、高度な技術を取り入れたものではなく病院各部署が HBV 再活性化を来す状況に対して出来ることの積み重ねの成果であったことを知ることができた。またそれを取り仕切るプロジェクトが有効に働いた結果であった。各々医療施設においてもこのような組織力で効果を発揮できる知見が得られた研修会であった。